



令和8年4月2日
大島町立さくら小学校 校長 野澤 啓幸

令和8年度大島町立さくら小学校学校経営方針

I めざす学校像 児童像

子供が主役となる学校 自分の未来を粘り強く切り拓く子

- (1) 児童が学ぶ喜びを実感し、生涯にわたって学び続ける基礎となる力を身に付けられる学校
- (2) 児童が自分や友達のよさを見だし、互いに高め合う学校
- (3) 教職員が働きがいを感じ、それぞれの特性や専門性を融合し、
地域・保護者と共に児童の可能性を広げ伸ばす学校
- (4) 児童も教師も保護者も誰もが誇りに思う学校

II 教育目標

東京都及び大島町の教育目標・指針を踏まえ、未来を主体的に生き抜き、知性、感性、道徳心、体力の調和のとれた豊かな人間性を育み、郷土を誇りとする児童の育成を目指すために、以下の教育目標を設定する。

やさしさ つよさ たくましさ のあるさくら小の子

- ◎「やさしさ」【徳】 <自分を大切にし、人への思いやり、関わりを大切にする子>
 - 「つよさ」【体】 <自分の心身の健康のために努力し続ける、行動力のある子>
 - 「たくましさ」【知】 <基礎的・基本的な学力を身に付け、自分の未来を粘り強く切り拓く子>
- (◎今年度の重点目標)

III 学校経営の基本方針

ア 「やさしさ」【徳】<「共生する力」の育成>(重点)

- ①生命尊重を基盤とした指導を通して、一人一人をかけがえのない存在として尊重する教育を推進する。その中で、児童に自尊感情や自信、安心感を育み、偏見や差別、いじめ、不登校を生まない、魅力ある学校の実現を目指す。
- ②自分を大切にするとともに、他の人を理解し思いやる心の育成を通して、自他の「いのち」を尊重する態度とともに、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ③児童が主体となって取り組む縦割り班活動や児童会活動を推進し、体験的な活動を通して社会貢献の精神ややり遂げる態度を育てる。
- ④保護者や他機関と連携し、児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。

イ 「たくましさ」【知】<「学びに向かう力」の育成>

- ①小中9年間を見据えた各教科年間指導計画、評価計画の下に確かな学力の向上を図る。各学年で確実に身に付けるべき基礎的・基本的な内容や学び方の定着を図るために、指導事項の関連を図ったり児童の実態を定期的に調査・把握したりして、学習内容を精選して指導を行う。
- ②探究的な学習プロセスを通して学習意欲を向上させ、主体的・対話的で深い学びを実現する指導の工夫を行う。
- ③「大島まるごと学校」をキャッチフレーズに掲げ、郷土に根ざした学習を行うためゲストティーチャーを活用

したり体験的な活動を取り入れたりして、主体的・協働的な学びの充実を図る。

④一人一台学習者用端末を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

ウ「つよさ」【体】＜「生活実践力」の育成＞

①学校 2020 レガシーに基づく授業実践を通して、スポーツへの興味関心を高め、自身の心や体に関心を持ち、日常的に運動したりすすんで健康で安全な生活を送ろうとしたりする態度を育てる。

②保健、食育の意図的、計画的な推進を図り、望ましい生活習慣、食習慣の確立を図る。

③防災計画に基づいた安全指導を計画的に行い、危機回避能力を高め、自助・共助の精神を培う。

エ 組織力の高い学校づくりを推進する。

①指導力向上のための教員の研修機会を充実させる。

②校務支援システム等、ツールを活用した情報共有を推進する。

③教職員が信頼し合い、補完し合える環境を整える。

オ 保護者・地域の方との連携を深める。

①学校だより、HP での発信を強化する。

②メール配信、内容等を整理する。

③ゲストティーチャー等、様々な教育力の有効な利活用を推進する。

④第二中学校と連携し、コミュニティスクールの取り組みを進める。